



やあ！



▲各ブースで企業担当者が直接説明を行う

ya!

URL:<http://tia21.or.jp/>

E-mail:tia@tia21.or.jp



▲説明を受けながらエントリーシートに記入



▲企業の情報交換を行う参加者



▲説明会終了後に行われた企業と参加者の交流会

「グローバル人材のための合同企業説明会」開催

平成 26 年 10 月 1 日（水）に栃木県青年会館コンセーレで、海外展開を目指す県内企業 20 社が参加し、「グローバル人材のための合同企業説明会」を開催しました。これは栃木県の「グローバル企業人材確保支援事業」の一環として行ったものです。グローバル人材とは、海外留学経験者、国際ボランティア経験者、外国人留学生などグローバルな活躍が期待できる人を指し、この日は 41 名の参加がありました。

参加者はまず、エントリーシートを作成し、関心のある企業ブースで担当者からの説明を聞くという流れで行いました。企業の話を熱心に聞く一方で、自らの海外経験をアピールする場面もありました。県内留学生は大学以外に専門学校の学生も参加するなど、県内企業に対して多くの興味を持っていました。説明会終了後、企業と参加者の交流会も開かれ、各ブースでは聞けなかった具体的な話を自由な雰囲気で質問をしている光景も見られました。なお、この事業は来年度も引き続き実施予定です。

2014年12月号

No.129

Winter



国際交流団体紹介

とちぎに暮らして…

JICA 情報局

TIA インフォメーション

NPO 法人日本指書道振興協会

熊谷モニカ さん(オーストリア出身)

青年海外協力隊が任国へ出発！

「宮っ子チャレンジ」が TIA で職場体験

「草の根技術研修事業で マレーシアから最後の研修員が来県」

平成 24 年度～
26 年度の 3 年間に
わたって実施して
いる草の根技術協
力事業「マレーシ
ア・サラワク州ク
チン市における環
境保全と廃棄物処
理対策」に関わる
最後の研修員受入



▲茂木町でコンポスト作成技術を学ぶ研修員

が、9月 1 日（月）～12 日（金）に行われ、本プロジェクトのモ
デル地区となっているクチン市のバコ村からサイリ・オスマン氏、
ダバン・ドラ氏、サディロ・タレブ氏、ヤン・モクタール氏の 4
名、及び北クチン市役所の環境保健課のハネブル・ヘンリー・ネ
サン氏の計 5 名が来県しました。

一行は茂木町に滞在し、同町のゴミ・資源物の分別・回収方法
やゴミ置き場の機能、生ゴミを活用した家庭用コンポスト作成技術
などを学びました。また、茂木町で活動している環境団体「川
をきれいにする女性の会」のメンバーと意見交換会を実施し、住
民が地域の環境保全に関わることの大切さについて活発な意見交
換を行いました。

学んだことを実践するアクション・プランの作成では、リーダー^{シップ}研修会、環境保全の意識啓発セミナー、ゴミ清掃活動、
コンポスト作成など積極的な活動を計画し、「バコ村のさまざまな
環境問題を住民と話し合って改善していきたい」と意欲を語って
いました。

平成 26 年度市町国際交流協会連絡会議

県内市町国際交流協会との情報交換を行い、連携の強化を図ることを目的とした「市町国際交流協会連絡会議」を 9 月 25 日（金）にとちぎ国際交流センターで開催しました。

今回の会議では、8 協会から 12 名が集まり、法人格の取得、会員の拡大、英語圏姉妹都市の中高生訪問団の派遣、在住外国人に対するごみの出し方や災害等の情報提供について話し合いを行いました。会員の拡大については、地域の実情に合った方法で会



▲活発な意見交換が行われた連絡会議

員の獲得に努めたり、ご
みの出し方等の情報提供
については、多くの市町
で外国語に翻訳した配付
物等を作成し、広く周知
できるよう工夫している
とのことでした。

「日本語ボランティア情報交換会」

外国人に日本語を教えているボランティアの皆さんを対象に、
日本語の教え方などを学ぶ「日本語ボランティア情報交換会」を
10 月 31 日（金）にとちぎ国際交流センターで開催し、県内各地
から 30 名のご参加をいただきました。

国内外での豊富な日本語指導経験を持つ宇都宮大学非常勤講
師の八重島炎氏を講師に迎え、「形容詞」に焦点をあて、教え方
や教室活動の実際について学びました。今回は、日本語初級の学
習者にわかりやすく形容詞を教えるにはどうしたらよいか、単語
の例や、分類方法、指導の際に気をつけることなど、参加者の皆
さん同士がグループワークを通じ、情報交換を行いました。

学習者にわかりやすくするため絵カードを使ったり、反対語と
セットにしたり、活用形に繋げたりと、様々な工夫がありました。



▲絵カードを使って解説する八重島氏

なお、この情報交換会は来年 3 月にも別のテーマで実施予定です。日本語を教えている方はぜひご参加ください。

「アルゼンチン栃木県人会長來訪」

10 月 31 日（金）に
にアルゼンチン栃木
県人会の秋沢クレリ
ア会長が会長就任の
ご報告に TIA に來
訪されました。

秋沢氏は 11 年前に
栃木県の「南米移住者
子弟短期研修生受入事業」で南米の県人会所属の高校生らと共に
団長として来県されたことがあり、TIA スタッフとは久しぶりの再会となりました。



▲TIA ラウンジで。中央が秋沢会長

現在、アルゼンチンの県人会には 45 名の会員があり、会合には
ほとんどの方が集まって来ることです。TIA 理事長（写真左）が、今後もアルゼンチンで栃木県の紹介を引き続き行っていた
だければ嬉しいと話すと、前会長の父のように栃木県の P R を
していきたいと意欲を見せてくださいました。

「多文化ソーシャルワーカー養成セミナー」

栃木県内在住外国人の定住化傾向が進む中、生活していく中で直面する問題は、複雑多岐にわたり、時に深刻化しています。そうした問題を抱える外国人を



▲多文化ソーシャルワーク概論の講義をする石河氏

継続的・専門的に支援する人材を養成するため、「多文化ソーシャルワーカー養成セミナー」を9月2日（火）から10月6日（月）まで計5日間、とちぎ国際交流センターで開催しました。

このセミナーでは、多文化ソーシャルワークの第一人者である日本福祉大学社会福祉学部教授の石河久美子氏をはじめ、外国人支援に関わる各分野の専門家10名が講師となり、外国人の社会的・文化的背景を理解するとともに、相談者だけでなく、その家族、コミュニティ、行政機関等の第三者にも働きかけ、課題解決に導くための様々な知識や方法を学びました。実施した各セミナーの内容は次のとおりです。

9/2 (火)	・「栃木県における多文化共生の現状」 ・「多文化ソーシャルワーク概論」 ・「社会保障・社会福祉に関する制度と運用」
9/9 (火)	外国人が置かれている立場や実例により対応を学ぶ ・「ダメスティック・バイオレンスへの対応」 ・「外国人の子どもの教育と支援」 ・「外国人医療の現状と課題」
9/16 (火)	・外国人の日本滞在に関する基礎知識となる「外国人出入国管理と在留管理制度」 ・実際の援助方法について学ぶ「ソーシャルワークのプロセス」
9/30 (火)	・外国人講師による実体験も交えながらの「外国人の就労・研修状況と課題と展望」 ・外国人通訳を交えて行う相談のロールプレイを含む「対人援助技法・面接技法」
10/6 (月)	・講師が示した事例の対処方法を考える「事例検討」 ・全体を通して学んだことをまとめることと今後の実践に向けて」

最終日には台風の直撃を受けたものの、皆勤受講者は16名でした。講座修了者には修了証が交付されました。

国際交流団体紹介 「NPO 法人日本指書道振興協会」

当協会は、中国の伝統文化「指書道（ゆびしょどう）」の普及振興を通じて、日中友好、国際交流、そして異文化理解に貢献するため、日々活動を行っております。指書道とは、筆を使わずに手の指や拳（こぶし）で文字を書く大変珍しい書道です。

指書道は1500年前の唐の時代から伝わる中国の伝統文化です。昔、中国では毛筆は非常に高価で、ごく限られた人しか買うことが出来ませんでした。そこで、人々は箸や竹に墨をつけて文字を書いていました。また一部の人は指に直接墨をつけて文字を書きました。その習慣が伝統文化となり、現在まで受け継がれているのです。

当協会理事長 唐沢岳夫（書道名 唐懷岳）が2001年に来日して日本で初めて「指書道」の普及振興を始め、2010年に当協会を設立しました。



▲2014年10月北海道美幌町にて指書道の実演研修会（左が唐沢理事長）

南は九州から北は北海道まで日本全国で行った指書道の展示会、実演等のイベントは合計80回を超える、たくさんの方々に指書道を楽しんでいただいているいます。

2011年9月には、指書道を普及する活動の一環としてギャラリー「懐岳廊（かいがくろう）」をオープンし、東京新聞に掲載されました。2011年11月には日本テレビ「ぶらり途中下車の旅」で紹介

▲指で書いた唐沢理事長の作品「馬」

され、元力士の舞の海さんが指書道教室を訪れ、指書道を体験されました。また昨年7月には日本初の指書道テキスト「指書道初級編」を当協会より出版いたしました。

現在、宇都宮市と鹿沼市で毎週「指書道教室」を開講しています。

指と墨を使い、紙の上に文字を書く指書道には独特の技法があります。そして、かすれ具合や墨の濃淡など、毛筆書道とは一味違った味わいがあります。

指書道の魅力は、墨があればどこでも書けること、そして頭を使い直接肌で表現できることです。ぜひみなさん一緒に勉強しましょう。（文・事務局 井澤慈子）

ホームページ: <http://www.yubishodo.com>



とちぎに暮らして… Living In Tochigi



熊谷モニカさん

オーストリア出身・宇都宮市在住。
2008年に来日。ドレミ・ミュージック
でバイオリン講師として勤務。バイク
の大型免許を持っており、ご主人との
ツーリングが趣味。

——こんにちは。モニカさんはバイオリンの先生だそうですね。

はい、オーストリアでもバイオリンとピアノを教えていました。
そんな時、ヨハン・セバスティアン・バッハ・ミュージックスクール（JSB M）でバイオリン講師を日本の幼稚園に派遣したい
という話を聞き、一年くらいならいい経験かと思い応募したのが
来日のきっかけです。

——日本の子どもたちに教えるのはどうですか。

当たり前ですが、すべて日本語で教えなければならないので難
しいです。オーストリアで私が教えていた音楽学校は、ムラウと
いう田舎の方のためか、おとなしいタイプの子たちが多く、日本
の子どもたちとあまり変わらず、接し方に苦労はしていません。

——最初は一年の予定が、もう六年になりますね。

ええ、長いですよね。ムラウの音楽学校は同僚にも恵まれ、コ

ンクールのための指導をするなど、とてもやりがいがあったので、
本当は戻りたい気持ちはありました。でも、今勤めているドレミ・
ミュージックのバイオリンクラスを立ち上げから関わることに
なったんです。バイオリンは、始めてから力がつくまでに10年
はかかります。指導者としてこの最初の10年を見届ける機会と
いうのは、一生のうちで何回もあるものではありません。それで、



こちらに留まることにしました。

——なるほど。日本語にも熱心
に取り組まれてますね。

都合がつく限り日本語教室で
勉強しています。日本語能力試
験にも挑戦するつもりです。

——栃木県の暮らしあいかが
ですか。

▲姪と一緒にバイオリンを演奏

景色や気候がとても気に入っ
ています。オーストリアで私が住んでいたところは、寒くなると
天気がどんよりするのですが、こちらは晴れの日が多く、空気が
がきれいですよね。私は自然が大好きなので、これからもツーリ
ングやヨットを楽しみたいと思います。

JICA
情報局

栃木県より3名の青年海外協力隊員が 任国にむけて出発！！

平成26年10月、県内より3名の若者が青年海外協力隊（26年度2次隊）として各任国に向けて出発しました。出発前には馬場副知事に表敬訪問し、隊員達は「栃木県代表として2年間心のこもった活動をしてきます。」と力強く意気込みを語りました。太平洋州、アジア、アフリカと3人とも派遣される場所は違いますが「現地の人々とともに！」をモットーに2年間、元気に活躍してくれることでしょう。またソロモンに派遣される山登さんはJICAホームページ内「JICAボランティアの世界日記」にて現地での活動や生活の様子をレポートしてくれる予定です。楽しみですね！皆さんぜひご覧ください♪



9月19日 馬場副知事表敬

■26年度2次隊3名（任期2014.10～2016.10）写真右より

山登 孝則さん（ソロモン 作業療法士）
湯沢 勇人さん（ウズベキスタン サッカー）
手塚 麻子さん（ガボン 小学校教師）

■帰国隊員2名 左より

柳田 文さん（ネパール／村落開発/2012.06～2014.06）
長沢 紘美さん（モザンビーク/理数科教師/2012.03～2014.03）

「宮っ子チャレンジウィーク」TIAで職場体験！

宇都宮市立陽東中学校2年生の小林朋恵さんが9/30(火)
～10/3(金) TIAで社会体験学習を行いました。

TIAやJICAの事業内
容について学んだり、外国語
講座の準備などお手伝いいた
だきました。

小林さんは各国の世界遺産
を、「やさしい日本語」を用いた
わかりやすい解説と写真で
紹介する『世界めぐり』を企
画し、センター1階に展示し
ました。

「TIAは、いろいろな国の



▲企画展示準備中の小林さん

言葉が飛び交って驚きました」と小林さん。

TIAスタッフは、小林さんとお仕事ができて、とても
楽しかった！応援しています！

TIAご案内

(公財) 栃木県国際交流協会
(とちぎ国際交流センター)
Tochigi International Association
(Tochigi International Center)

宇都宮市立陽東中学校 2年生の小林朋恵さんが9/30(火)
～10/3(金) TIAで社会体験学習を行いました。

TIAやJICAの事業内
容について学んだり、外国語
講座の準備などお手伝いいた
だきました。

小林さんは各国の世界遺産
を、「やさしい日本語」を用いた
わかりやすい解説と写真で
紹介する『世界めぐり』を企
画し、センター1階に展示し
ました。

「TIAは、いろいろな国の

編集・発行 公益財団法人栃木県国際交流協会
住所 〒320-0033 宇都宮市本町9-14 とちぎ国際交流センター内
TEL 028-621-0777 (代表) 028-627-3399 (相談専用)
FAX 028-621-0951
業務時間 8:30～17:15
休館日 日曜・月曜・祝祭日及び12月29日から1月3日